



醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより

令和7年2月4日 No.17

文責 校長 花輪 忠康

【教育目標】よく考えて学ぶ子ども(知) 親切で思いやりのある子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)

合言葉「こつこつ とことん あきらめない」(継続・徹底・根気)

町制施行70周年記念植樹

2月3日(月)、桑折町の町制70周年を記念し、町役場で桜の植樹式を開催しました。各校男女1名ずつ、年齢が7才である児童が代表となり、高橋町長さんと一緒に桜の苗木を植えました。

本校からは、7才年長である1組の八巻優羽さんと、2組の近藤陽真さんが務めました。この桜は、旧桑折町役場にあった桜の枝から苗木に育てられた桜だそうです。金のシャベルを持って、かけ声とともに土をかけました。皆さんが大きく成長するとともに、桜も大きく育ちます。とても良い記念となりました。



昔遊びを体験しました!(1年)

1月22日(水)、1年生は生活科の学習で「昔遊び」を体験しました。桑折町老人クラブ連合会の佐藤孝一様、佐藤俊彦様、吉田操子様、斎藤トシ子様、上原ミサヲ様、虎岩義孝様、町生涯学習課の旗野宣久様から、お手玉、おはじき、紙ひこうき、竹とんぼ、あやとり、こま回しを教わりました。昔、子どもたちは身の回りの物で遊びを考えました。しかし、今ではなかなか経験できない遊びです。子どもたちは、みんな夢中になって昔遊びを楽しみました。クラブの皆様、ありがとうございました。



生命の誕生(5年)

1月21日(火)、5年生は、理科の学習で「人の誕生」を学びました。桑折町保健福祉課 助産師の蓬田利江様にお越しいただき、生命の誕生と母体内の子どもの成長についてお話をいただきました。

命の誕生は、精子と卵子の受精から始まり、母胎の子宮の中で、約38週間かけて子どもが大きくなります。赤ちゃんには、胎盤と赤ちゃんをつなぐ「へその緒」があり、母体から栄養や酸素をもらい、二酸化炭素や尿を出しています。赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で、38週間守られて育ちます。子どもたちは、赤ちゃんモデルを抱いて、赤ちゃんの重さを体験しました。人の誕生は、奇跡的で貴重で尊いものです。みなさんもお家の方に大事に育てられてきました。いただいた命を大切に、これからも心も体も健康に過ごしてください。



鼓笛隊オリエンテーション（４～６年）

1月30日（木）、次年度の鼓笛隊の編制に向けて、オリエンテーションがありました。はじめに、鼓笛隊担当の多田先生から、鼓笛演奏に向けた心構えなどお話をいただきました。鼓笛は醸芳小の伝統的な取り組みとして、代々受け継がれてきました。しかし、現在は児童数の減少に伴い、規模は年々縮小し、披露の場も運動会に限られています。また、鼓笛隊の編制には、オーディションへの配慮や練習時間の確保に悩みもあります。様々な課題はありますが、子どもたちも先生方も昼休みを返上し、練習時間の確保に努めてきました。次年度から、総合的な学習の時間に「伝統の継承」と組み入れて、オーディション、組織の編成、練習時間の確保に努めていきます。地域の皆様の要望も踏まえ、課題を改善しながら取り組んでいきます。ご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



雄勝小学校とのオンライン交流（４年）



1月30日（木）、4年生は総合的な学習の時間に、宮城県の雄勝小学校とオンライン交流をしました。本校の4年生は、「桑折町の魅力」を発表しました。桑折町の特産物・観光・産業・自然・歴史などの視点から、自分たちが調べた町のよさを発信しました。美味しい飲み物、食べ物のあるお店。陣屋の森の美しさや無能寺のみかげの松など、雄勝小の友達にも町の魅力を伝えました。一方、雄勝小の子どもたちからは、「雄勝町の魅力」の紹介がありました。雄勝町は、きれいな海と美味しい水産物に恵まれた町。特産の硯、奇跡の三本松も有名です。互いの町を紹介して地域のよさを知ることができました。

子どもの最適な学びの環境づくりのために

1月31日（金）、県北教育事務所指導主事の富田篤先生をお招きして、特別支援教育研修会を開催しました。通常学級においても、学習や日常生活において、教育的な支援を必要としたり、学習の困り感を抱いたりしているお子さんがいます。どの子どもにとっても分かりやすい授業を提供し、日常生活での困り感の解消に努めていきたいと考えています。講師の富田先生からは、学習や生活に関する具体的な対応策を教えてくださいました。子どもたちには、それぞれ得意な学習タイプがあります。言語の読み書きが得意な子、対話をしながら物事を理解する子、運動感覚的に物事を習得する子などです。その個性を捉え、その個に応じた学びを提供することが望ましいとされています。学んだことを生かして、子どもたちの個別最適な学びを推進していきます。富田先生、ありがとうございました。



次年度の教育課程に向けて

年度末を迎え、本校では、次年度の教育課程の編成に取り組んでいます。子どもたちと向き合う時間を確保し、「進んで学び、心豊かで、たくましい子ども」の育成を目指して、よりよい学校づくりに努めています。そのためには、先生方もゆとりをもって、子どもの教育にあたる必要があります。

その具体策として、日課表（時間割）の改善、通知票の見直し、学校行事の精選、会議時間の短縮化、器楽部や鼓笛の指導時間のもち方を検討しています。学校では、課題改善委員会を開催し、課題の改善に取り組んでいます。詳しくは、今後、学校だよりやPTA総会でお話いたしますが、保護者の皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。